

令和2年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第8号

令和2年7月22日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

今後の管理のポイント

- ・いもち病の発生に注意し、発生が確認された場合は速やかに防除しましょう。
- ・斑点米カメムシ類の水田内での侵入を防ぐため、水田畦畔の草刈りは出穂10日前までに終えましょう。防除は穂揃期とその7～10日後に実施してください。
- ・出穂後に高温が続く場合は、「昼間深水・夜間落水」等の実施により、玄米品質の低下を防ぎましょう。

1 気象の概況

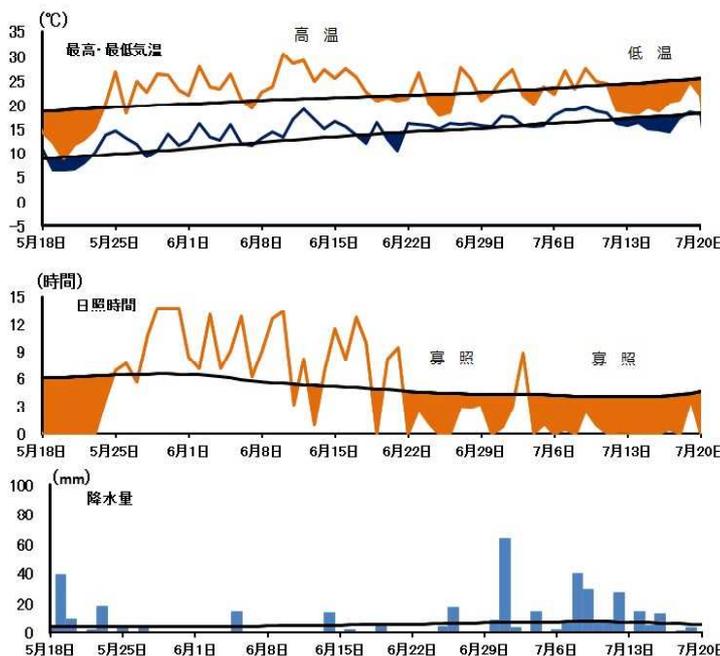


表1 気象経過 (気仙沼アメダス)

	平均気温(°C)		日照時間(h)		降水量(mm)	
	本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年比
6月上旬	18.5	2.5	98.8	161%	14.5	37%
6月中旬	20.0	2.9	69.9	130%	20.5	39%
6月下旬	18.5	0.4	22.4	52%	30.0	49%
7月上旬	20.5	1.2	17.7	41%	165.5	245%
7月中旬	18.4	-2.2	4.5	11%	72.5	115%

<気象概況 (仙台管区气象台発表)>

【7月上旬】

- ・平均気温：高い
- ・降水量：かなり多いから多い
- ・日照時間：かなり少ないから少ない

【7月中旬】

- ・平均気温：低い
- ・降水量：多い
- ・日照時間：概ねかなり少ない

図1 気象経過図 (気仙沼アメダス：5月18日～7月20日)

2 水稻生育調査ほの生育概況

表2 水稻生育調査結果 (7月20日調査)

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色値 (GM)	幼穂長 (mm)	
ひとめぼれ 気仙沼市 (本吉町)	本 年	5/14	20.4	68.2	630.4	11.5	36.3	18.8	
	前年比・差		±0	104%	109%	98%	+0.2	+3.0	-1.5
	平年比・差		±0	107%	107%	119%	±0	+4.3	-7.6
ひとめぼれ 南三陸町 (志津川)	本 年	5/12	18.6	67.4	452.0	11.4	35.2	34.3	
	前年比・差		+6	104%	109%	103%	±0	-0.9	+11.7
	平年比・差								
県平均値	本 年			70.6	509	11.7	38.2	26.21	
	前年比・差			100%	97%	-0.3	+3.2	-32.73	

注1) 平年値は平成27年から令和元年までの5か年の平均値。

注2) 志津川ひとめぼれは平成30年度から調査開始のため平年値はなし。

注3) 県平均値は、県内31地点の生育調査ほ(品種：ひとめぼれ、ササニシキ)の平均値。

- ・ 県内の生育調査ほにおいては、生育は順調に進んでいます。幼穂形成期は7月9日頃で、まもなく減数分裂期に達するものとみられます。
- ・ 管内の生育調査ほにおいては、葉数は前年並、莖数は前年並からやや多くなっており、生育は順調に進んでいます。7月20日現在、志津川「ひとめぼれ」は減数分裂期を迎えており、本吉「ひとめぼれ」も間もなく迎えるものとみられます。

3 出穂予想

- ・ 今後の気温が平年並みであると仮定すると、7月20日現在で、三陸沿岸の出穂期は8月7日（出穂始期）～8月14日（穂揃期）頃になると予想されます（表3）。ただし、今後の天候により、生育ステージが予測値から変動することもありますので、ほ場で幼穂長を確認し、生育ステージを把握することが重要です（表5）。

表3 生育ステージの予測（7月20日現在、古川農業試験場）

地帯区分	田植時期		幼穂形成始期		減数分裂期		出穂期	
	始期	～ 終期	始期	～ 終期	始期	～ 終期	始期	～ 終期
三陸沿岸	5/4	～ 5/23	7/6	～ 7/16	7/16	～ 7/26	8/7	～ 8/14

注1) 出穂期の平年値は過去10か年（平成22～令和元年）のうち、最も早い年と遅い年を除いた8か年平均

注2) 7月19日までアメダスデータ実測値使用，7月20日以降はアメダス平均値使用

注3) 対象品種「ひとめぼれ」「ササニシキ」

注4) 各生育ステージの幅は田植始期～田植終期で予測

4 今後の管理の留意点

細線/通常の水管理

太線/低温時は深水管理

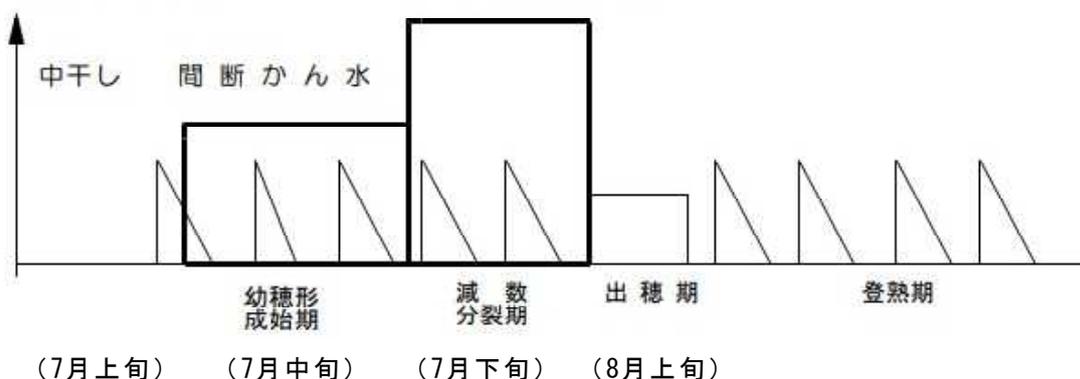


図2 水田水管理体系

【低温時の水管理】

- ・ 幼穂形成期から減数分裂期にかけて日平均気温20℃以下，または日最低気温17℃以下が続く場合は，早急に深水管理を行きましょう。

○ 幼穂形成期（幼穂長1～2mm）：幼穂の伸長にあわせ水深を5～10cm程度とする。

○ 減数分裂期（幼穂長3～12cm）：できる限りの深水管理を実施する（水深20cmが望ましい）

- ・ 深水が保てるよう畦畔等の補修を行い，地域として深水かんがいができる用水管理体制を整えておきましょう。

【出穂後の水管理】

- ・ 品質が低下しやすい出穂後5～15日に最低気温23℃以上が連続する場合，白未熟粒が多発し，品質の著しい低下を招く危険性があるので，根の活力維持や同化物質の転流

促進を図るため以下の対策を実施しましょう。

●「昼間深水・夜間落水管理」

晴天等の高温時において昼間はできるだけ深水管理とし、夜間は逆に落水管理とする水管理方法。一日の用水温の推移を見ると、気温よりも数時間遅れて水温の低下が見られるので午前9時～10時頃にかんがいし、気温が用水温を下回り始める午後4時頃に落水するのが望ましい。

●走水等により土壌を常に湿潤状態に保つ保水管理

出穂後の水管理を保水管理で維持することによって、昼間深水・夜間落水管理ほどの効果が得られないが、湛水管理に比べれば乳白粒や胴割粒の発生が低減できる。

【落水時期】

- ・落水時期は、出穂後30日以降とし、根の働きを維持することで玄米品質や食味の向上を図りましょう。

【追肥】

- ・登熟期の光合成能力向上、白未熟粒の発生の軽減、玄米品質・食味の向上のため、追肥を実施しましょう。
- ・ほ場ごとに葉色、生育ステージ及び生育量を確認し、適切な追肥を行いましょう（表4、表5、表6）。

表4 品質を維持するための目標生育推移（ひとめぼれ）

	6月20日	7月1日	7月10日	7月20日	穂揃期	出穂後25日
草丈・稈長(cm)	32～34	45～48	56～59	66～69		82～85（稈長）
茎数・穂数(本/m ²)	310～360	460～520	470～530	450～500		410～460（穂数）
葉緑素計値	41～44	40～42	38～40	35～37	33～35	33以下

表5 幼穂の長さとお穂までの日数の目安

生育ステージ	時期 本吉「ひとめぼれ」平年値	出穂前 日数	幼穂長 (mm)	葉耳間長 (cm)
幼穂形成始期	7月12日	25日	1～2	-
減数分裂期	始期	-	30～40	-10
	盛期	7月23日	12日	80～100

注）葉耳間長：止葉の葉耳とその下の葉の葉耳との間隔によって、出穂前日数を知ることができます。

表6 追肥の目安

品種名	追肥時期別及び施肥量（窒素分量）	
	幼穂形成始期（出穂25～20日前） （幼穂長 1～2mm）	減数分裂期（出穂15～10日前） （幼穂長 3～12cm）
ひとめぼれ	1.0kg/10a	1.0kg/10a
まなむすめ	2.0kg/10a	-
ササニシキ	-	1.0～1.5kg/10a
みやこがねもち	-	1.0kg/10a

【病害虫防除】

(1) いもち病

- 病害虫防除所から7月17日に防除情報第3号が発表されました。
いもち病が発生しやすい状況が続いています。ほ場を入念に見回り、病斑を確認したら直ちに防除しましょう。

○防除のポイント

- 上位葉の葉いもち病は、穂いもちの発生源になります。ほ場を入念に見回り、病斑を確認した場合は直ちに防除を実施してください。特に、追肥後は一時的に稲体の窒素濃度が高まり、いもち病菌に対する侵入、進展抵抗力が低下するので、薬剤散布を併せて行うなど注意してください。また、いもち病の常発地、葉いもちの予防剤を施用していないほ場、生育が遅いほ場や葉色が極端に濃いほ場も発生に注意してください。
- 穂いもちの予防防除を実施した場合でも、ほ場を入念に見回り、葉いもちの発生を確認した場合は、直ちに茎葉散布剤による防除を実施してください。
- 穂いもち病は、出穂直後が最も感染しやすいので、適期を逃さないよう防除してください。

(2) 紋枯病

- 出穂期前からの発病は被害が大きくなるので、注意してください。
- 茎葉散布剤による散布適期は、穂ばらみ期から穂揃期です。要防除水準（減収率5%、被害発生確率50%の場合）は、穂ばらみ期の発病株率が「ひとめぼれ」で18%となっていますので、要防除水準に達した場合は、防除を行ってください。
- 前年に発生が多かったほ場では、多発のおそれがあるので、防除を実施してください。
- 株元に薬剤がよく付着するように十分や薬量で散布してください。

(3) 稲こうじ病

- 前年に多発したほ場では注意が必要です。銅剤は予防効果が高く効果的なので、適期（出穂20～10日前）に防除を実施しましょう。

(4) 斑点米カメムシ類

- 病害虫防除所から防除情報第2号が発行されました。斑点米カメムシ類の水田内への侵入を防ぐため、水田周辺の草刈りを適期に実施しましょう（図3）。

○防除のポイント

①水田畦畔の草刈り（出穂10日前まで）

- 水田畦畔の草刈りは、水稻の出穂前後に行うと水田内にカメムシ類を追い込むことになるため、水稻が出穂する10日前までに終わってください。

②薬剤防除

- 薬剤防除は、穂揃期とその7～10日後の2回防除が基本です。
- イヌホタルイ、ノビエ等が発生した水田で除草ができなかった場合は、1回目の薬剤散布時期を「出穂始から穂揃期」に早めることで、アカスジカスミカメの密度を低下させ被害を軽減できます。

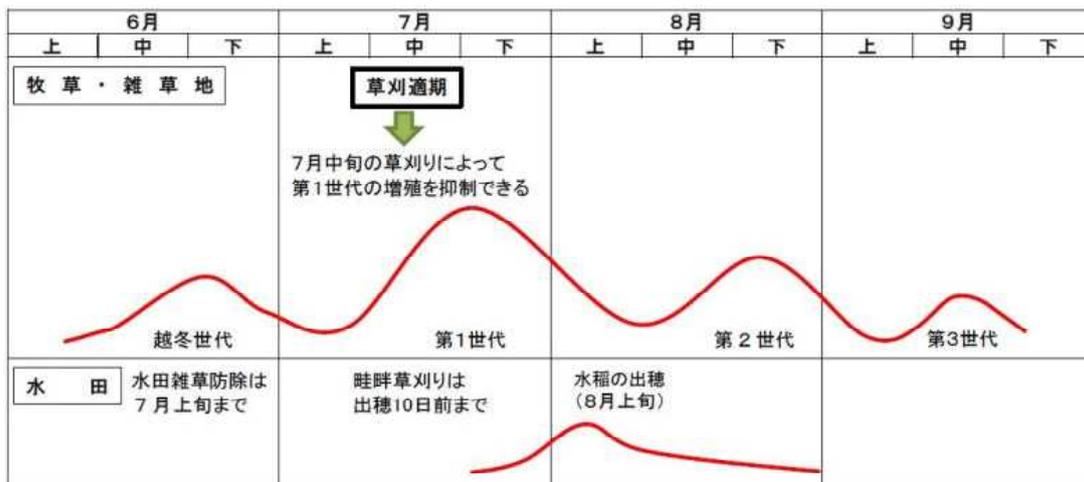


図3 アカスジカスミカメの平年の発生消長と草刈り適期

(5) コバネイナゴ

- ・病虫害防除所から防除情報第1号が発表されました。コバネイナゴが多い水田では速やかに防除しましょう。

(6) 病虫害防除の推進体制

- ・病虫害の防除は、地域的な取組により効果を高めることができます。そのため、病虫害の発生状況に応じた適期防除の実施体制を整備し、効率的な防除に努めましょう。また、ポジティブリスト制の実施に伴い、農薬の適正な散布に留意しましょう。

1か月の天候の見通し 東北地方(7月17日～8月17日)

(7月16日 仙台管区气象台発表)

予報のポイント

- 気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の日照時間は、東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で少ないでしょう。
- 期間の前半は、日照時間の少ない状態が続く所がある見込みです。

日照不足と長期間の低温に関する東北地方気象情報 第2号

(7月21日 仙台管区气象台発表)

東北地方では、6月25日頃から曇りや雨の日が多くなっており、日照時間の少ない状態が続いています。また、7月12日頃からは東北太平洋側を中心に気温の低い日が多くなっています。この状態は、今後10日間程度は続く見込みです。農作物の管理等に十分注意してください。

..... 農薬危害防止運動実施中(6月1日～8月31日)

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名等ラベルなどで確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って適正に使用しましょう。

※最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認できます。

HP<<http://www.acis.famic.go.jp/searchiF/vtll001.html>>

○だて正夢の栽培管理

表6 だて正夢現地栽培技術普及展示の生育調査結果（7月20日調査）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色値 (GM)	幼穂長 (mm)
だて正夢 気仙沼市 (本吉町)	本 年	5/13	20.8	66.7	411.8	11.3	34.6	7.7
	前年比・差	±0	107%	109%	111%	+1.1	+1.0	+2.4
だて正夢 県平均値	本 年			76.0	450	11.7	40.0	14.14
	前年比・差			107%	96%	+0.1	+1.2	+12.85

注1) だて正夢は平成29年調査開始のため、平年値はなし

注2) 県平均値は、県内9普及センター+古川農業試験場の平均値

【追肥】

- 「だて正夢」は千粒重が小さく、乳白粒も発生しやすいため充実度不足による落等が生じやすいので、登熟向上の効果が高い減数分裂期の追肥が重要です。
- 目標の莖数が確保されている場合は、減数分裂期に窒素成分で2kg/10aの追肥を行うことで、整粒歩合の向上をはかります。
- 有効莖数が不足し穂数不足が予想される場合には、幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分で1kg/10aずつを施用し、適正籾数の確保をはかりましょう。
- 生育過剰で倒伏の恐れが心配される場合には、追肥を見送ります（詳細は水稻新品種「だて正夢」栽培の手引きを参照願います。）

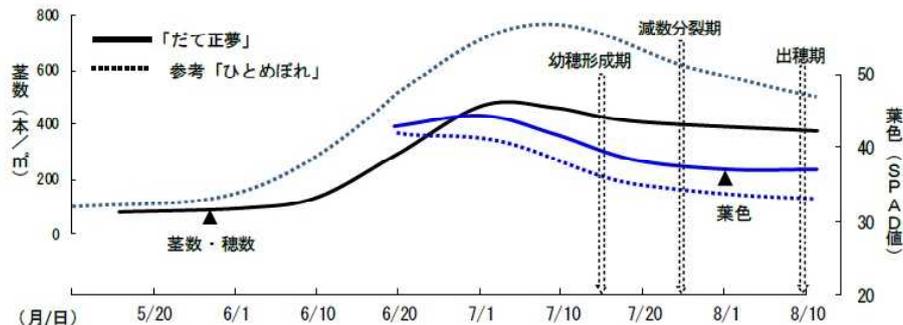


図4 「だて正夢」生育のイメージ

注) 平成28~30年栽培試験にて適正な籾数・収量・品質を得た試験区の生育をもとに作図

表7 「だて正夢」の生育量の目安（「だて正夢」栽培の手引きより）

	幼穂形成期 7月15日頃	減数分裂期 7月25日頃	出穂期 8月10日頃
草丈 (cm)	64~70	76~82	-
莖数・穂数 (本/m ²)	390~460	380~420	350~400
葉色 (SPAD値)	40~42	37~39	35~37
主茎葉数 (葉)	10.0~10.8	11.4~12.2	12.5~13.0

【病虫害防除】

- 「だて正夢」のいもち病への耐病性は強いと見られますが、評価は定まっていないため「ひとめぼれ」に準じて適期に防除を実施します。
- 斑点米カメムシ類の防除については、出穂期が「ひとめぼれ」より1~2日程度遅くなることに留意し、適期に実施します。